

～災害ボランティアセンター開設訓練を実施します～

今年度も赤穂市災害登録ボランティアや赤穂ボランティア協会などに広く呼びかけ、実際の災害時にボランティア活動が円滑に行われるように災害ボランティアセンター開設訓練を実施します。

市民の皆さんもぜひご参加いただきますようお願いいたします。

日時 平成28年2月14日(日) 午前9時～正午
場所 総合福祉会館

詳しくは、社協(☎42-1397)までお問い合わせください。

災害登録ボランティア随時募集中!! 詳しくは社協まで!



～阪神・淡路大震災21年～ 1.17ひょうご メモリアルウォーク2016

災害ボランティア研修会

60歳以上の男性限定!

輝くオトコの 生き方講座



この講座では、日常生活で欠かすことのできない整理整頓と料理について学び、自立した生活を目指していきます!
日常生活に役立つ技能と知識を身につけましょう!

- ★日時
①平成28年1月22日(金) 午前10時～正午
「オトコも家事を楽しもう!～整理整頓のキホン～」
講師:整理収納コンサルタント 笹田 奈美子 氏
②平成28年1月29日(金) 午前9時30分～正午
「冷蔵庫の残り物でできる/1パッと料理教室
～片付けまでキッチリと～」
講師:赤穂市いすみ会

- ★場所 総合福祉会館
★対象 60歳以上の男性
★定員 15名(応募多数の場合は抽選)
★受講料 500円(材料代、保険料として)
★注意事項 2回とも参加できる方を優先
アレルギーのある方は事前に申し出てください
★申込締切 平成28年1月15日(金)



阪神・淡路大震災から21年目を迎える平成28年1月17日(日)に、風化しがちな防災意識を新たにするとともに、震災の経験と教訓を発信し、1.17を忘れずに語り継ぐため、「1.17ひょうごメモリアルウォーク2016」が開催されます。

赤穂市社協では、相生市社協と協力し、下記のとおり参加ボランティアを募集します。

- 日程 平成28年1月17日(日)
○内容 午前7時15分福祉会館出発 午後5時30分帰着(予定)
「1.17ひょうごメモリアルウォーク2016」(5キロコース)
「1.17のつどい」への参加 ※大型バスで現地まで行きます。
○募集人数 20名(定員になり次第締め切り)
○参加費 一人1,000円(昼食代は別途自己負担)
○申込締切 平成28年1月7日(木)
○申込先 赤穂市社会福祉協議会 ☎42-1397



個人ボランティア募集中!

その他にもさまざまな活動がありますので、あなたにぴったりの活動を探そう手伝いをします!

介護特別食の調理

栄養士作成のレシピを使い、「減塩・減糖」の介護特別食の調理を行います。

- 日時…毎週月曜・木曜(どちらかでも可)
午前9時～午後1時
○場所…総合福祉会館

母子・父子家庭向けお弁当の調理

「ひとり親家庭サポート事業」として、毎月第3土曜日に、母子・父子家庭、ひとり暮らし視覚障がい者を対象にお弁当の調理を行います。

- 日時…毎月第3土曜日(8月・1月は休み)
午前9時～午後1時
○場所…総合福祉会館

福祉施設等での特技披露

演芸や手話、腹話術などの特技をお持ちの方!その特技をボランティアに生かしてみませんか?

- 時期…福祉施設等からの依頼があれば随時

寒さが本格化しましたが、体調を崩されていませんか?
こんな時こそ積極的に外に出られてみてはいかがでしょうか?
心も体も温まるボランティア活動をして、楽しく元気に厳しい冬を乗り切りましょう! (事務局 大崎)

Let's ボランティア

第4号
2015年12月

(発行)
赤穂市社会福祉協議会
ボランティアセンター
〒678-0232
赤穂市中広267(総合福祉会館内)
TEL: 0791-42-1397
FAX: 0791-45-2444
http://ako-shakyo.jp
E-mail: ako-vc@ako-shakyo.jp

Q&A

介護支援ボランティアポイント制度事業は、高齢者の健康増進と介護予防を目的としてボランティア活動を推進し、高齢者の社会参加を応援しています。

この事業は、赤穂市から委託を受けて、社協が運営しています。

Q. どんなことをするの?

- A. 市内27カ所(平成27年12月1日現在)の福祉施設(老健・デイサービスなど)でボランティア活動を行います。各施設によって活動内容はさまざまです。レクリエーションや行事などのお手伝い、お話や囲碁・将棋の相手など、できる範囲の内容で活動できます。

Q. 誰でも活動できるの?

- A. 赤穂市に在住する65歳以上の方で、要介護1～5の認定を受けていない方ならどなたでも登録できます。(要事前登録)
現在、147名の方が登録し、活動されています。

Q. ポイントってなに?

- A. 活動をしていただくと、1時間につき1スタンプ、1日最大2スタンプまで(2カ所での活動可)を手帳に押しもらいます。集まったスタンプは、1スタンプ=100ポイント=100円として計算され、年度末に交付金に転換します。(年間上限5,000円まで)

Q. 手続きはどうしたらいいの?

- A. まずは、社協において登録申請書を記入していただきます。(介護保険被保険者証と印鑑が必要です)
後日、登録にあたっての研修会(随時開催)を受講していただき、登録手続きが完了します。完了後、活動先との調整を行います。
※申込みの時期によっては、4月からの登録をお願いする場合があります。

介護支援ボランティアポイント制度 知っていますか?



申込・問合せは、社会福祉協議会(☎42-1397)まで

ボランティア

ボランティアグループ紹介

～てんとうむし～

平成4年5月にボランティアセンターに登録し、現在35名の会員で活動しています。

主な活動は、社協で実施している「移送サービス事業」への協力、常時車いすを使って生活をされている方に対し、リフト付き車両での通院をお手伝いしています。

「安心・安全」をモットーに、活動では運転手と介助者の二人一組になって、利用者を送迎しています。月1回の役員会や、年1回の実習講座を実施し、会員同士の情報交換や日頃の活動の見直しを欠かしません。また、先日のし・あ・わ・せフェスティバルでは、恒例のもちを販売。会員で協力して、たくさんのもちをつきあげました。

お迎えに行くと、利用者には「おはよう!」「おまたせしました!」と元気に声をかけ、積極的にコミュニケーションをとっています。「人を乗せて運転するので緊張はするけれど、家に送り届けた時に、ありがとうと言ってもらえることが嬉しくて、活動の励みになっています。」と代表の戸谷さんは話していました。

これからも、移送サービスを通して利用者に元気を届けていきます。



～手作り文化伝承の会～



手作り文化伝承の会は、平成15年2月にボランティアセンターに登録し、現在22名の会員が活動しています。

主な活動は、赤穂義士祭の行列用草履・草鞋の作成と履き方の指導で、長年続けて協力しています。

1足の草履を作るには大変な苦労があります。数ある工程の中で、一番辛い作業が「わら打ち」です。材料のわらを、木槌で打って柔らかくする作業ですが、強く打ち過ぎると切れてしまいます。簡単に見えてもなかなか難しいのですが、欠かせない作業です。

「自分たちが丹精込めて作った草履を履いた義士行列を見ると、ホッと嬉しくなります。」と代表の沖さんは話していました。

赤穂義士祭への協力の他にも、城西小学校において草履作りや履き方の指導を行ったり、会員みんなで実習をしながら「手作り文化」を伝えています。

会員の平均年齢は74歳。失われゆく文化の灯を絶やすことなく、これからも義士の足元を守っていきます。

～今、会いたいボランティア～ (No.4)



「ボランティアでみんなも自分も幸せになる」

ほほえみ会代表

大林 幸代さん(周世)

事務局：ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか。

大林：ボランティア仲間と誘われたのがきっかけで、「私にできることなら」と気軽な気持ちで始めました。気付けば、もうすぐボランティアを始めて30年になります。始めた当初は、毎月福祉施設へ行き、服の修繕などをお手伝いしていました。現在も回数は減りましたが、活動を続けています。

事務局：ボランティア活動でやりがいに感じることは何ですか。

大林：服の修繕など、普段の生活で何気なくしていたことで、誰かの助けになれることです。また、施設の利用者や職員のやり方を見て、新しい方法が身に付くのも魅力だなと思います。教えあう中で、人との付き合いが生まれます。

事務局：「ほほえみ会」は当ボランティアセンターへの登録が昭和57年4月で、今年「ひょうご県民ボランティア活動賞」を受賞されました。長くグループ活動を続けてこられた秘訣はありますか。

大林：気付けば今までやっていたと言ったら変ですが、生活の一部となっていて、やめるにやめられなくなりました。ボランティア仲間と誘いあいながら、つながりを大切に活動してきました。そんな人たちとの出会いで、今まで続けてこられたのだと思います。

事務局：これからの目標を教えてください。

大林：年を取ったけれど、ほちほちでも良いので、続けられるだけ続けていきたいなと思います。これから、若い人がもっとボランティアに興味を持って、少しの時間でもボランティア活動に参加してもらえたら嬉しいなと思います。

第33回し・あ・わ・せフェスティバル～フクシふれあいまつり～

—ささえ愛 ささえ合う・・・人だから—



去る11月15日(日)、福祉会館全域において「第33回し・あ・わ・せフェスティバル～フクシふれあいまつり～」が赤穂ボランティア協会と社協の共催で行われました。

当日は天気にも恵まれ、約3,300名もの方々にお越しいただきました。屋外では各グループによる模擬店や福引抽選会、お昼からは消防車と救急車の展示があり、記念写真を撮る方が多く見られました。会館内では、ふれあい映画上映をはじめ、朗読や点字などの体験ラリー、体力測定コーナーが行われ、多くの方が参加されていました。

今回のフェスティバルが、地域で互いにふれあいや支えあいを考えるキッカケになればと思います。

ご協力いただいた実行委員をはじめとする関係者の皆さん、ありがとうございました!

